

静養館だより

発行・編集

社会福祉法人 鎌倉静養館

〒248-0014

鎌倉市由比ガ浜4-4-30

TEL 0467-22-8021

FAX 0467-22-8053

— 苦難が忍耐を生み、忍耐が品格を、品格が希望を生むことを —

お礼になったお二人と稲村ガ崎

理事長 西崎猛之

『鎌倉でゆっくり暮らしたい』という思いで、七里ヶ浜の湘南の海を臨み、海の向こうに伊豆の山々から右に箱根の山々が連なり、背後に富士山があり、眼下に江の島があるという素晴らしい絵のような風光明媚な鎌倉・稲村ガ崎地区に別荘を持った、お礼になったお二人がいらっしゃいます。お一人の方は来年2024年7月に発行される新5千円札の津田梅子さんです。もうお一人の方は、今の5千円札樋口一葉さんの前の5千円札新渡戸稲造さんです。稲村ヶ崎の音無橋を挟んで、別荘が建てられました。海側に新渡戸稲造邸、高台の中腹に津田梅子邸です。高台の下に江ノ電が走り、「音無橋」という停留所がありました。テレビのスペシャルドラマ「津田梅子—お礼になった留学生〜」が2022年3月に放映され、ラストシーンの海を望んだ風景は、この稲村ガ崎の別荘のことで、音無橋は鎌倉山のふもとから下って七里ガ浜に流れる小さな小川・音無川に架けられた小さな橋です。関東大震災で流され、木造の橋から堅固な石造りの美しいアーチ橋にかけ替えられました。3年後の大正15年(1926年)2月のことです。この橋から江ノ電に沿って進むと海側に画家の有島生馬邸があり、その先の姥が谷の谷戸の入口に別荘があり、この別荘をお借りした鎌倉静養館(ルーツの休養施設)が見えます。初代の稲沢館長が、音無橋のことをその橋の往来から「インターナショナル・ヴィリッジ」とエッセイのなかで名付けていました。

時代が過ぎ、鎌倉静養館は、戦後の昭和29年(1954年)に、このルーツの別荘で、「鎌倉でゆっくり過ごすことから、暮らしていただく」と、キリスト教老人ホームとして再発足し、老人福祉法が施行されて、昭和40年(1965年)に財団法人から社会福祉法人鎌倉静養館を設立し、軽費老人ホームとして建て替え、ルーツのミッションをもって現在に至っています。そして「静養館だより」が創刊されたのは1980年5月です。巻頭言で、初代の理事長の松尾造酒蔵牧師が述べています。『静養館は年とともに古くなるのはやむなきことであるが、またいつも新らしくなる不思議な静養館である。いつ来て見ても内観外観が少しも派手さはないが小ざっぱりして美しい、すべてがキチンとよく整っていて昔と比べて見違えるようである。しかも場所がよい。一步外に出ると稲村の海岸であって、目の前に広い海をながめ、右には江の島、左には逗子葉山、そして遥か遠くに富士山の英姿さながら素晴らしい絵のような光景である。ここが私どもの静養館である。……』と。

このたび任期満了に伴い改選があり、理事長を重任することになりました。初代理事長の松尾牧師との出会いは牧師の晩年でしたが、お会いしている一人としてミッションを引き続けて参ります。今も世界も日本も深いうめきにある苦難な時代が続いています。—苦難が忍耐を生み、忍耐が品格を、品格が希望を生むことを—という新約聖書の言葉があります。苦難にあっても希望を生むこの言葉を信じる者として、鎌倉静養館が、地域とのつながりを広げ、地域にあってどんなときもお一人おひとりを大切に寄り添い、鎌倉の暮らしの支援ができるように、取り組んで参りたいと思います。

どんなときにもお一人お一人に寄り添います

—職場の通信員よりイチ推しの紹介—

鎌倉おなり保育園

認可保育園 0歳～ 50名定員

所在地：鎌倉市御成町



日々、子ども達の賑やかな声と音で溢れかえる保育室。本当は大好きなお母さんお父さんと一緒にいたい気持ちをぐっと抑え込み、友達と笑い合っ楽しく過ごす事で、遠くからお仕事のお手伝い。みんなが少しずつがんばっています。そんな風に、毎日無邪気に楽しんでいる笑顔を裏から支える「がんばる気持ち」が、私たち保育者にもまた、子ども達にとって居心地の良い場所を築くための活力を分けてくれているのです。

保育

地域包括支援センター

所在地：特養鎌倉静養館内

2012年鎌倉市から委託の高齢者のよろず相談所。担当地区は海・山・観光地、江ノ電和田塚駅から稲村ガ崎駅地区。自治会・民生委員・商店会・寺院・教会等々と連携し、地域行事や会合・サロン等に、高齢者の声かけ・見守りネットワークを広げながら、「住んで良かった鎌倉」を目指して、日々、自転車で走り回っています。地域行事にはオレンジベスト(地域と生活の支援の色)や青エプロン(由比ガ浜の海の色)を身に付けて参加する「チーム包括」がイチ推しです。



小規模多機能型居宅介護

材木座あじさいの家

所在地：鎌倉市材木座



私の職場のイチ推しは「日本庭園」です。四季折々の草木を楽しむことができ、毎日野鳥やリスが遊びにきます。お部屋で自然豊かな庭を眺めながら、穏やかでゆったりとした時間を過ごしたり、天気の良い日には、庭に椅子を並べてお過ごしいただくこともできます。梅やザクロなどの収穫できる植物や、季節ごとに様々な種類の花が咲きます。今年の夏の初めには、収穫した梅をご利用の方々と一緒に漬けて、梅ジュースを作りました。そんな楽しみ方ができるのも、自慢の庭の魅力の一つです。

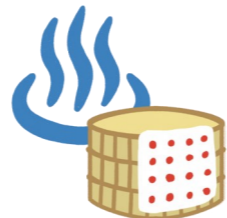
在宅介護

通所介護施設

所在地：市福祉センター1階



やまざくらと言えば、「富士山をバックに入る大きなお風呂」が大人気!さらには季節に合わせてイベント風呂を開催しており、先月はバラ風呂で大好評でした。夏祭りやクリスマス等の季節行事は皆さんと一緒に楽しく盛り上がっています!ちらし寿司や冷やし中華、おでんなどの食事イベントも充実しています。ご利用者同士が毎日和気あいあいと過ごしているやまざくら!ぜひご見学にいらして下さいね!



軽費老人ホーム

鎌倉静養館

所在地：稲村ガ崎 定員59名

私の職場のイチ推しは「おいしい食事」です。特に「誕生日会の食事」は格別です。翌月に誕生日を迎える方々と栄養士、介護職員、相談員、が参加し当日メニューについて作戦会議をします。誕生日を迎える方々のご希望を上手に取り入れたメニューは当日までのお楽しみです。厨房スタッフの腕前に、待っている間のワクワク感のスパイス、最後の仕上げは皆様の笑顔を加えて完成です。ごちそうさまとともに、思いはすでに、翌月の誕生日会!!



介護福祉施設

特別養護老人ホーム

特養鎌倉静養館

所在地：由比ガ浜 定員64名

短期入居施設 定員10名



特養鎌倉静養館におけるわたしの職場のイチ押しは、「南側の居室から見える風景」です。2階の居室から望む風景は一面の海が見えます。良く晴れた日は、大島が見え、地平線がはるか彼方にあるのがよくわかります。今はコロナ禍で中止になっていますが、鎌倉花火大会では、2階のバルコニーから特等席で花火を鑑賞する事が出来ます。晴れて暖かい日はご利用者が窓際で日向ぼっこをしながらお休みになっている姿が見られると、とても和やかな気持ちになるわたしの職場のイチ押しです。



コロナ禍にても ボランティアの皆様の活動に感謝

コロナ禍にあって、感染防止のためボランティアの受け入れを自粛して参りましたが、次の方々には継続してお願いいたしました。感謝いたします。

- ・ **特養鎌倉静養館** 入居者洗濯ものたたみ（地階洗濯室）の皆様 月～金 当番表に従って
鎌倉婦人子供会館、鎌倉市社会福祉協議会ニーズ対応チーム、鎌倉大船教会、鎌倉恩寵教会、
鎌倉教会、鎌倉泉水教会、鎌倉雪ノ下教会、由比ガ浜カトリック教会 のグループの皆様
- ・ **軽費老人ホーム鎌倉静養館** 入居者フレイル予防・生活の潤いのため
しなやか体操 毎週金曜日の午前中1時間 指導ボランティア 齊藤たえ子様
太極拳 月2回月曜日午前中1時間 指導ボランティア 伊能千次様
似顔絵 新入居者の似顔絵制作ボランティア 青木ゆきお様

鎌倉静養館の動き

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大について、鎌倉静養館もエッセンシャルワーカーとしての使命感をもち、危機意識をもって、感染防止対策を徹底してきました。
- ・ 職場におけるハラスメント防止について、職員就業規則を改定し、別途規則を定めました。

2023年4月人事異動（管理者）

伊藤尚子	軽費老人ホーム	施設長	発令
萩原 克	同	副施設長	発令
中山美恵子	材木座あじさいの家	施設長	発令
岩根弘子	地域包括支援センター	管理者	発令
西崎猛之	兼務の施設長を外し常勤理事長		発令



任期満了に伴う役員(理事・監事)の選任について、

定時評議員会が6月15日(木)オンライン会議にて開催され、選任・重任を決定

理事 6名 小針 宏、小見山浩美、田中英雄、塚越敏夫、長野邦子、西崎猛之
監事 2名 上野貢一、背山静子

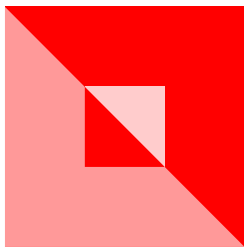
2025年度6月定時評議員会開催時まで、任期を全うします。

新理事会6月23日(金)にて開催 理事長に、西崎猛之の重任を決定

評議員会の7名の評議員は方々

阿部 誠、岩澤勝昭、小宮山剛、齊藤哲夫、原 尚正、島田利修、兵藤芳朗

—編集後記— まだまだコロナ禍が続き、第5類に移行されても、高齢者福祉施設としての行動が制約されています。今回は、職員から職場のイチ推しを特集しました。



2022年度(令和4年)寄付金

(2022年4月～2023年3月)

—深い感謝をもってご報告いたします—

日頃から社会福祉法人鎌倉静養館の運営にご理解、ご協力をいただき深く感謝いたします。

2022年度(令和4年)は皆様から、総額8,769,058円のご寄付を賜りました。

ご支援、ご協力を賜りました皆様に厚く御礼申し上げます。

掲載ご氏名は五十音順

軽費老人ホーム鎌倉静養館

日本基督教団 鎌倉雪ノ下教会 様
青山学院横浜英和中学高等学校 様
鎌倉市第三地区社会福祉協議会 様
西崎 猛之 様
新納 嶺 様

計 1,300,000円

特養鎌倉静養館

日本基督教団 鎌倉教会 様
日本基督教団 鎌倉教会婦人会 様
日本基督教団 鎌倉雪ノ下教会 様
青山学院横浜英和中学高等学校 様
鎌倉女学院 様
ハリス記念鎌倉幼稚園 様
第三地区社会福祉協議会 様
(有)角喜葬儀社 様
川村 悦子 様
小西 秀俊 様
郷原 直行 様
下村 悦子 様
杉村 フク 様
杉村 とめ子 様

計 6,952,058円

鎌倉おなり保育園

小見山 浩美 様

計 10,000円

鎌倉静養館後援会

団体様
カトリック由比ガ浜教会 様
日本基督教団 大船教会 様
日本基督教団 鎌倉恩寵教会 様
日本聖公会 鎌倉聖ミカエル教会 様
日本基督教団 鎌倉泉水教会 様
日本基督教団 逗子教会 様
日本基督教団 茅ヶ崎教会 様
日本基督教団 藤沢北教会 様
日本基督教団 藤沢北教会婦人会 様
日本基督教団 横浜大岡教会 様
日本基督教団 横浜指路教会 様

個人様

飯塚 俊輔 様
岡野 和子 様
加藤 久枝 様
鈴木 紀久江 様
脊山 静子 様
高山 カズ子 様
長野 邦子 様
原 厚子 様

日本基督教団
鎌倉雪ノ下教会内

後援会の皆様

上木 正彬 様
牛尾正幸・志保 様
梅田 美千代 様
江川 朝子 様
大森 おほみ 様
小田切 真理 様
川口 泰昌 様
齋藤 哲夫 様
清水 正弘 様
新澤 佳詠子 様
高岸 典子 様
田村 雅子 様
藤田 達雄 様
本城勇介・ゆりえ 様
棟居 洋・美智子 様
村上 公子 様
吉永 多恵子 様
吉成 みち子 様

後援会合計 507,000円

寄付金合計

8,769,058円

本寄付は所得税法78条の
寄付金控除の対象となります。

2022年度(令和4年)収支決算報告(概要)

貸借対照表 (2023年3月31日現在) (単位:千円)

(1)2022年度は、新型コロナウイルス感染拡大にあって、第7波、第8波となり、その間、高齢者施設等で感染のクラスターとなっていた。鎌倉静養館も、エッセンシャルワーカーとしての使命感と危機意識をもち、感染防止対策を徹底しましたが、軽費老人ホーム、特別養護老人ホーム、小規模多機能型居宅介護事業所「材木座あじさいの家」において、入居者・利用者及び職員に感染が広がり、クラスターとなってしまいました。いずれも施設内療養としなければならず、その対応をいたしました。軽症でしたが、入居者・利用者及び職員を守ることができず、慙愧に耐えられません。

(2)鎌倉静養館の各施設事業所は、事業計画のもとに、事業継続の収支差額の確保に取り組まれましたが、慢性的介護職員の要員不足にあって、特に、コロナのクラスターとなった施設事業所においては、その対応に追われ、事業運営が困難となり、収支差額を確保できず、大幅な欠損となりました。

(3)2022年度の法人全体(軽費老人ホーム・介護保険事業・保育園)の事業活動収支決算(():前年度)は、▲33.1百万円(▲27.5百万円)の赤字の収支決算となりました。各事業の内訳は、特養他介護保険事業グループ全体は▲15.4百万円(▲23.9百万円)、軽費老人ホームは▲15.0百万円(▲12.9百万円)、保育園は▲3.5百万円(+9.7百万円)、法人本部は+0.8百万円(▲0.4百万円)となりました。鎌倉静養館の事業継続のために、今後もコロナ禍が続く、感染リスクを負いながらの事業運営の困難さが増しますが、各事業において、全力をもって、事業活動収支を回復しなければなりません。

(4)コロナ禍にあって、クラスターの発症もあり、感染防止を徹底し、慎重な運営を余儀なくされた中で、特別養護老人ホームにおいて、看取りケアの向上を目指し、日常生活を過ごし、ご本人とご家族とともに、終末期をともにしたお看取りについて、12名(前年度5名)の方々をお見送りいたしました。2023年度は、経営理念のもとに、どんなときも、お一人おひとり大切に寄り添い、おめでとくと祝福されて始まり、ありがとと感謝して終わる健やかな人生の営みを支えてまいります。それぞれの事業計画に取組み、収支改善を確実なものにして、地域とつながり、多様に積極的に展開して社会貢献を進進していきます。

社会福祉法人 鎌倉静養館 理事長

資産の部		負債の部	
流動資産	333,302	流動負債	251,659
現金預金	23,221	事業未払金	31,772
事業未収金	92,059	1年以内返済予定リース債務	1,673
未収金	69	職員預り金	2,086
未収補助金	2,485	拠点区分間借入金	214,085
立替金	1,670	未払費用	416
前払費用	363	預り金	1,627
拠点区分間貸付金	214,085		
徴収不能引当金	▲650		
固定資産	461,668	固定負債	46,489
基本財産	124,363	リース債務	1,976
建物	124,363	拠点区分間長期借入金	3,000
その他の固定資産	337,305	退職給付引当金	41,513
建物	61,341	負債の部合計	298,148
構築物	16,937		
機械及び装置	0	純資産の部	
車両運搬具	526	基本金	16,901
器具及び備品	14,168	国庫補助金等特別積立金	109,411
権利	32,499	その他の積立金	163,346
ソフトウェア	183	社会福祉事業積立金	111,000
無形リース資産	3,649	軽費事業運営積立金	40,050
拠点区分間長期貸付金	3,000	岡記念基金積立金	296
退職給付引当資産	41,513	浅見記念基金積立金	7,000
長期前払費用	142	杉村記念基金積立金	5,000
社会福祉事業積立資産	111,000		
軽費事業運営積立資産	40,051	次期繰越活動増減差額	207,164
岡記念基金積立資産	296	(うち当期活動増額差額)	▲33,070
浅見記念基金積立資産	7,000	純資産の部合計	496,822
杉村記念基金積立資産	5,000		
資産の部合計	794,970	負債及び純資産の部合計	794,970

資金収支計算書

(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) (単位:千円)

勘定科目	決算額
事業活動による収支	
介護保険事業収入	522,412
老人福祉事業収入(軽費)	122,115
保育事業収入	107,857
その他の事業収入	155
経常経費寄附金収入	8,769
受取利息配当金収入	6
その他の収入	5,570
事業活動収入計(1)	766,884
人件費支出	530,249
事業費支出	122,843
事務費支出	124,522
その他の支出	3,367
事業活動支出計(2)	780,981
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	▲14,097
施設整備等補助金収入	0
施設整備等収入計(4)	0
固定資産取得支出	4,695
ファイナンス・リース債務の返済支出	2,486
施設整備等支出計(5)	7,181
施設設備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	▲7,181
積立資産取崩収入	17,473
拠点区分間長期借入金収入	0
拠点区分間繰入金収入	2,500
その他の活動による収入	190
その他の活動収入計(7)	20,163
積立金支出	15,662
拠点区分間繰入金支出	2,500
その他の活動による支出	105
その他の活動支出計(8)	18,267
その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	1,896
予備費支出(10)	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	▲19,382
前期末支払資金残高(12)	103,348
当期末支払資金残高(11)+(12)	83,966

事業活動計算書

(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) (単位:千円)

勘定科目	決算額
事業活動増減の部	
介護保険事業収益	522,412
老人福祉事業収益(軽費)	122,115
保育事業収益	107,857
その他の事業収益	155
経常経費寄附金収益	8,769
その他の収益	4
サービス活動収益計(1)	761,312
人件費	533,538
事業費	122,843
事務費	124,775
減価償却費	27,526
国庫補助金等特別積立金取崩額	▲11,927
サービス活動費用計(2)	796,755
サービス活動増減額 (3)=(1)-(2)	▲35,443
サービス活動増減の部	
受取利息配当金収益	6
その他のサービス活動外収益	5,566
サービス活動外収益計(4)	5,572
その他のサービス活動外費用	3,094
サービス活動外費用計(5)	3,094
サービス活動外増減差額 (6)=(4)-(5)	2,478
経常増減差額 (7)=(3)+(6)	▲32,965
特別増減の部	
施設整備等補助金収益	0
拠点区分間繰入金収益	2,500
その他の特別収益	0
特別収益計(8)	2,500
固定資産売却損・処分損	0
拠点区分間繰入金費用	2,500
国庫補助金等特別積立金積立額	0
その他の特別損失	105
特別費用計(9)	2,605
特別増減差額(10)=(8)-(9)	▲105
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	▲33,070
繰越活動増減の部	
前期繰越活動増減差額(12)	235,134
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	202,064
基本金取崩額(14)	0
その他の積立金取崩額(15)	12,100
その他の積立金積立額(16)	7,000
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	207,164